

## 保証について

本製品の保証期間は、商品のお届け日から3年間です。  
保証期間内において、通常のご使用方法によって自然発生した故障は、部品交換または商品交換をさせていただきます。一部有料で交換対応させていただく場合もございます。詳しくは右のQRコードよりKANADEMONOの保証制度をご確認ください。



## THE STORAGE SHELF 取扱説明書

本書は正しく安全にお使いいただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解した上でご使用ください。また本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

この度はKANADEMONOの製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。  
安全にお使いいただくために、ご使用前に注意事項および取扱説明書を最後までよくお読みください。万が一、商品に不具合があった場合、【お客様のお名前】【ご注文番号】をご記載の上、【不具合箇所の写真】【箱のステッカー】の写真と一緒に下記カスタマーサポートまでご連絡ください。商品の返品・交換時には、お届け時の梱包材をご使用の上ご返送くださいますようお願いいたします。お届け時の梱包材を処分されないようご注意ください。

## ⚠ 組立てに際しての注意事項

- 組立てる前に部品、不足部材がないかご確認ください。
- 組立てしやすい場所を確保してください。
- 組立て手順に従って組立ててください。
- 毛布等を敷くなど、床や家具にキズを付けないようご注意ください。
- ケガや本体破損防止のため必ず2名以上で作業を行ってください。
- ボルトを必要以上に強く締めすぎると天板裏に埋め込まれた鬼目ナットが外れてしまう場合がございます。特に電動ドライバーを使用される際はご注意ください。










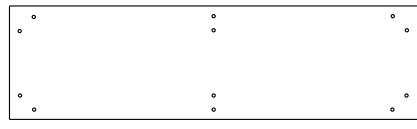

所要時間 15分



組立て人数 2人

## 部品・本体パーツ

※組立てる前に部品、部材をご確認ください。

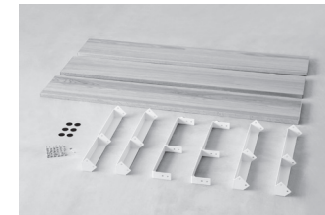
ボルト  ×26	本体パーツ 脚  ×2 中間脚  ×2 ※W1210以上の場合に限り中間脚が付属します。
スプリングワッシャー  ×26	
ワッシャー  ×26	本体パーツ（別梱包） 天板  ×1
六角レンチ  ×1	棚板  ×1
フェルト  ×4	※天板は棚板より一回り大きく製作してあります。 天板の裏面に貼り付けられている天板シールを目印に判断してください。

## 組立て手順

### 1

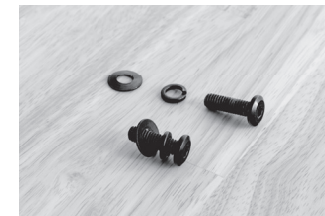
脚、天板、棚板、付属パーツが揃っていることをお確かめください。

※W1210以上の場合に限り中間脚が付属します。



### 2

ボルトにスプリングワッシャー、ワッシャーの順で予めセットします。ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーには予備が含まれます。



### 3

脚の裏面に付属のフェルトを貼り付けます。

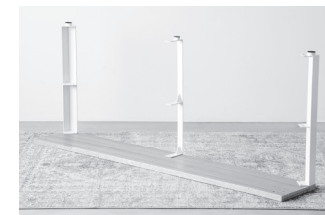


### 4

天板を裏返して長辺側に鉄脚2本を取り付けます。中間脚が付属する場合は鉄脚の間に中間脚を1本取り付けます。後で調整することを考慮して緩めに締めます。

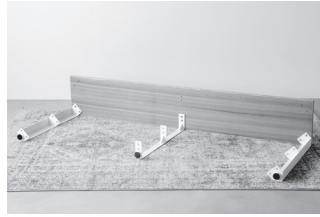
※天板は棚板より一回り大きく製作してあります。

天板の裏面に貼り付けられている天板シールを目印に判断してください。



# 5

仮止めが終わったら、仮止めした脚が下になるように天板を横向きにします。



# 6

棚板2枚を鉄脚に差し込み、仮止めをします。



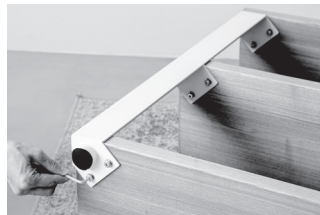
# 7

残りの鉄脚2本をセットし、仮止めをします。  
中間脚が付属する場合は鉄脚の間に中間脚を1本取り付けます。



# 8

1番下になる部分8箇所のボルトを固く締めます。



# 9

大人2名以上でシェルフを起こします。  
この時、鉄脚を持って起こすとボルト部分に負荷がかかり大変危険です。天板を持って起こすようにしましょう。



# 10

最後に全てのボルトを固く締めて完成です。



## ⚠ 取扱い注意事項

❗ ご利用いただく前に必ず取扱説明書をお読みください。  
不適切な使用を原因とするケガやものの損傷について保証対象外となりますのでご承知ください。

- 直射日光、湿気、熱を避けて設置してください。
- シェルフ以外の目的で使用しないでください。
- 踏み台として使用しないでください。また、極度の偏った荷重をかけないでください。  
重量オーバーによる本体破損や転倒して怪我をする恐れがあります。
- 平らなところで使用してください。
- 座面が壁に触れないように離してお使いください。使用時に座面と壁が擦れて傷などがつく恐れがあります。
- 屋外での使用は避けてください。サビの発生や破損の要因となります。
- 全ての本体パーツを組立てたことをご確認の上ご使用ください。
- 定期的にボルトやネジに緩みがないか確認し、緩みがあれば再度締め付けてください。